

簡易な収入(所得)見込額の申立書
【家計急変者】

収入の減少が新型コロナウイルス感染症の影響である場合✓を記入してください。収入の減少が新型コロナウイルス感染症の影響ではない場合、本給付金の対象とはなりません。

源泉徴収票や確定申告書等により、年間所得で申し立てる場合は、記入不要です。

申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入したすべての方の状況を記入してください。

【A】【B】【C】の合計額を記入してください。

下の〈早見表〉から、扶養人数に応じて、該当する金額を記入して下さい。

年間収入見込額(⑥欄)と非課税相当収入限度額(⑦欄)を比較して、⑥欄の方が低ければ支給対象(裏面は記入不要)です。⑥欄の方が高い場合は、裏面に必要事項を記入し、年間所得で申し立ててください。

1. 確認事項

○「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記に該当する場合にはチェック(☑)してください。

☑ 私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

2. (1)任意の1か月の収入で申し立てる場合

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した者全てについて記入してください。

	(フリガナ) 氏名	左欄の者が扶養する者の数	令和3年度住民税課税状況	障害者控除等の適用	任意の1か月で申し立てる場合、その年月	任意の1か月の収入⑤			年間収入見込額 D×12	非課税相当収入限度額
						給与収入 【A】	事業収入又は不動産収入 【B】	年金収入 【C】		
1	オカガキ タロウ 岡垣 太郎	1	<input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年 8月	収入合計額 A+B+C=【D】 130,000	0	130,000	1,560,000	1,460,000
2	オカガキ ハナコ 岡垣 花子	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 3年 8月	収入合計額 A+B+C=【D】 0	0	0	0	0
3			<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月	収入合計額 A+B+C=【D】				
4			<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月	収入合計額 A+B+C=【D】				
5			<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和 年 月	収入合計額 A+B+C=【D】				

(記入上の注意)

- ① 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
- ② 「令和3年度住民税課税状況」欄には、該当する項目にチェック☑してください。
- ③ 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック☑してください。
- ④ 「任意の1か月で申し立てる年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の年月を記入してください。
- ⑤ 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和3年1月以降の任意の1か月の収入を記入してください。

給与収入	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金収入	※公的年金収入(非課税除く)がある場合にご記入ください。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。

⑥ 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。

⑦ 「非課税相当収入限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。(早見表1)

扶養している親族の状況	非課税相当収入限度額
単身又は扶養親族がいない場合	965,000円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	1,469,000円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	1,877,000円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	2,327,000円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	2,777,000円
本人が障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	2,043,999円

※これを超える場合は、上記の〈早見表1〉の被扶養者の人数に応じた区分を適用